

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2	学年	2	科	機械科
----	----	----	------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2、使用教科書・副教材

「新家庭基礎」ーパートナーシップでつくる未来ー (実教出版)

3、学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	家庭生活全般に関わる基本的な知識や技能を身につけている。	さまざまな情報をうまく取捨選択し、自分の考えを深めようとしている。	興味をもって授業に参加し、主体的に課題に取り組んで自分の考えをもととしている。
評価方法	定期考査 調理実習 被服製作	・授業中の発言、調べ学習 ・プリントの記入内容	・授業中の発言、実習や製作 ・プリントへの取り組み ・生徒による自己評価

4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

	単元および学習の内容	評価規準	時数
一学期	4月 5月 6月 生活を作る【食生活をつくる】 ・人と食物のかかわり ・栄養と食品のかかわり(食品の栄養とからだの成分) ・食品の選び方と安全(食品の表示と保存・食品の衛生と安全) ・食生活をデザインする(食事摂取基準、食品群別摂取量の目安) ・調理実習①②③	・家庭基礎を学ぶ意味を理解している。(a) ・食品や栄養のことに興味を持ち、食生活をデザインし、主体的に調理実習に取り組む。(a)(b)(c)	28
二学期	7月 8月 9月 10月 11月 ・これからの食生活を考える(食品の選択 添加物、食中毒 環境汚染等) 【衣生活をつくる】 ・人と衣服のかかわり・私たちの衣生活・衣服は何かからできているのか ・被服製作の基礎(基礎縫い、製作)・よりよい衣生活を創造する 【子どもとかかわる】 ・少子社会と子ども、子どもの誕生、社会的支援	・食生活や衣生活、子どものことに興味を持ち、前向きに授業に参加し、主体的に被服製作に取り組む。(a)(b)(c)	30
三学期	12月 1月 【自分らしい生き方と家族】 ・家族、家庭 ・法律 ・生活時間 【高齢者とかかわる】 ・高齢社会 ・高齢者の自立支援 【消費者として自立する】 ・消費行動 ・資源、環境を考える ・家庭経済 【住生活をつくる】 ・人と住まい ・安全な住まい	・家庭生活や高齢者問題、消費者問題、住生活の問題に興味を持ち、今後の自分の人生や社会のあり方について自分の考えをもつ。(a)(b)(c)	20

5、学習にあたって(アドバイスなど)

- ・提出課題は期日までに必ず提出すること。
- ・履修事項を知識としてだけでなく実生活に生かすよう心がけよう。